

派遣先所属 宮城県仙台土木事務所 氏名 西川 庫敏 (にしかわ くらとし)
田中 潔 (たなか きよし)

派遣期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 派遣業務の内容、現況

東日本大震災による宮城県の被害は、死者 1 万 455 人、行方不明者 1,297 人、全壊家屋約 8 万 3 千棟、半壊家屋約 15 万 5 千棟となっており、被害総額は 9 兆 1,653 億円に及んでいます。公共土木施設も甚大な被害を受け、県所管分だけでも、約 2,900 か所、被害額約 5,700 億円にも及びます。

宮城県では、被災した土木施設を復旧するとともに、新たなまちづくり、住宅の整備、防潮堤の整備など復興に向け山積する膨大な事業に対し、職員一丸となって取り組んでいます。その早期実施を支援するため、土木部へは、29 都道県から 113 名の職員が派遣されています。埼玉県からは、5 名が土木部に派遣され、私たち 2 名が仙台土木事務所に所属しています。

私たちの所属する仙台土木事務所は、県中央部及び沿岸南部の 5 市 8 町 1 村（仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村）の国道（286 号及び 457 号、仙台市内除く。）、県道（仙台市内除く。）、河川（1 級、2 級（国管理部除く。）、砂防・急傾斜地等を所管しています。事務所には、私たち 2 名を含めて、15 都県から計 31 名が派遣されております。

埼玉県から派遣の 2 名は、道路部道路管理第 2 班に配属され、被災した道路、橋りょう及び公園の復旧工事を担当しています。

昨年度は、埼玉県及び愛媛県が道路部に派遣されておりましたが、今年度は私たち 2 名がその業務を引き継ぎました。

主な業務は、工事費の積算、関係機関との協議調整、工事監督業務を行っています。復旧工事の内容は、舗装の打換え、擁壁の復旧、破損した橋りょう部品の交換、津波により流出した球場の復旧などです。工事箇所は降雪のある山間部から埼玉県にはない海岸部までと多岐にわたっています。

被災地では、請負業者の技術者・労働者の人手不足、建設資材の入手難、労務資材単価の高騰が慢性化しており、これらに起因する入札不調や工事進捗の遅れなどの対応に苦慮しています。その影響をできる限り少なくし、早期の工事完了ができるよう業務を進めています。

被災した公園の復旧状況

(H25.4)



(H25.9 末)



2 復旧・復興状況や被災地での見聞・感想

震災から2年8か月が経過し、着実に進展がみられ、復興への槌音も響いてきています。沿岸部ではガレキの処理が概ね完了し、仮設商店街や魚市場なども賑わいを取り戻してきました。

公共土木施設の災害復旧については平成27年までに全て完了することとし、県事業において箇所ベースで約89%、金額ベースで約33%（平成25年9月末）となっています。復興に向けては、津波対策、復興まちづくり、復興住宅の整備を三位一体で同時並行的に進めており、県内各地で事業に着手しています。

今後も、これまでにない量の事業を実施する必要があり、被災地では引き続きの支援を必要としています。